

IT資産管理サーバ Version 7.1.2i

○Version6.8.10i からの変更点

●ソフトウェア配布の機能強化

ローカル配布のソフトウェア配布で、フォルダーを配布対象に指定することが可能になりました。

複数ファイルを一度に配布して実行することができます。

また、「ユーザー任意のタイミングで配布」を指定した場合、管理者権限で実行することが可能になりました。ユーザー権限で PC にログインしている場合でも、管理者権限で配布されたソフトウェアを実行することができます。

●Active Directory 連携ツール

オンプレミスの Active Directory (AD) サーバーのグループ情報とユーザー情報を、ISM サーバーにアップロードすることが可能になりました。

「AD 連携ツール」を AD サーバーもしくは任意の PC で実行することで、指定した AD サーバーの情報を ISM サーバーにアップロードします。ツールは定期的に自動実行することが可能です。

組織や所属変更があった場合に、AD の情報を変更すれば ISM コンソールの組織を手動で変更する必要がなくなります。

●表示項目設定の記憶

下記の画面において、画面の切り替えや再ログインしても前回の表示項目で表示するように変更しました。

画面表示のたびに表示項目を再設定する必要がなくなります。

- ・ハードウェア一覧
- ・セキュリティ脆弱性診断
- ・OS セキュリティ更新プログラム診断 NG リスト
- ・ソフトウェアバージョン診断 NG リスト
- ・ウイルス対策ソフトウェア診断 NG リスト
- ・禁止ソフトウェア診断 NG リスト
- ・カスタム診断 NG リスト
- ・スマートデバイス診断 NG リスト
- ・インベントリ未収集リスト

●Android 7 対応

Android クライアント 6.9 以降で下記の機能が利用可能となりましたので、機能制限を解除しました。

- ・SD カード制御機能
- ・パスワード変更の PUSH 実行

また、新しい Android クライアントに合わせて一部表記を変更しています。

- ・IMEI → IMEI/MEID

●接続元 IP アドレスによるコンソールログイン制御

接続元の IP アドレスでユーザーコンソールへのログインを許可することが可能になりました。

社外からの不正なログインを防ぎ、セキュリティを高めることができます。

●Windows 11 / Windows Server 2022 対応

Windows 11 および Windows Server 2022 に対応しました。

- ・ダッシュボードの「OS 別台数 : Windows」に Windows 11 および Windows Server 2022 を追加
- ・ソフトウェア配布の対象 OS に Windows 11 を追加
- ・Windows 11 の操作ログ収集
- ・ハードウェアインベントリに Windows 11 のバージョンと更新モデルを表示

●Adobe 対応製品の追加

ライセンス管理可能な Adobe 製品を追加しました。

●Windows クライアントの改修

基本/個別ポリシー > PC 制御で、「プログラム適用延長日数を指定する」を

無効にした場合に、無効以前の設定を保持するように変更しました。

●リモコンコンソールのチェック状態保持

リモコンコンソール起動時の「確認」「アイコン表示」のチェック状態を記憶し、

次回起動時に同じチェック状態で起動するようになりました。

●不具合修正

1. 一度の操作で 1,000 件以上のクライアントを廃棄/復活/削除を実行できない問題を修正しました。